

# 未来

郵政産業ユニオン  
**PIWU**  
全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中郵支部  
機関紙・「みらい」  
NO. 4020  
20年1月1日(水)  
Tel・Fax 095-828-1953

# 今年もよろしくお願いたします

おはようございます。

初夢を見た？

ついに日本が美しい国  
となった。

国民は天皇陛下の前に  
万歳三唱を、何度も叫び  
続け、夜には提灯行列を  
して、「君が代」を歌い、  
天皇の御代の永遠を喜び  
合っている。

当然、国の土台の昭和  
憲法は改憲され、令和新  
憲法ができた。

そこには国家（天皇や  
首相）が主権者となり、  
基本的な人権が公共の利益



の前に後退し、権利は死語

となる。

また、社会法という名の  
国民（労働者）保護法や社  
会福祉法は自己責任という  
考えでなくなった。

職場では権利のためにた  
たかう労組はみんな解散し、  
協調組合（翼賛会）だけと  
なった。

労働時間や残業という考  
えは生産性向上という理由



でなくなり、目標必達まで  
仕事は終わらない。

雇用もみんながアンシエ  
イトや一般職となり、それ  
が正社員とされ、非正規社  
員はいなくなった。万歳。

国民間の格差は、正当な

競争の結果とされ、勝者が  
上級国民となり、敗者は下  
級国民とに区分けされた。

しかしこれは、日本で封  
建時代から戦前まで続いた  
階級的な身分格差ではなく、  
正当なシステムとなった。

日本は世界にさきがけて  
国家第一主義のトップラン  
ナーである。

自国に壁をつくり、隣国  
を劣等民族（国家と呼び、  
軍事的、政治的、経済的差  
別と圧力を加え、その隣国  
との対立を追い風に、自衛  
隊を軍隊として、海外（中  
東）派兵はもろろん、核兵  
器を持つ、軍事大国となっ  
た。

夢はついに実現した。明  
日からは堂々と歩こう。

というところで夢が覚め  
る。

いつものことだが、これ  
は百年前の日本であり、一  
九三〇年代の日本である。

さぞかしそのころの日本  
国民は幸せだったのだろう。  
私の親や祖父母たちが、暮  
らした昔懐かしき、美しい  
日本へ回帰できたのだ。私  
も万歳三唱をくり返し、君  
が代を歌い、天皇の赤子と  
して、ありがたく、涙を流  
す。おめでたい新年だった。



悪夢か正夢か。  
それは私たちのこの一年  
の生き方次第である。

民主主義では選挙で国の  
政治は決まるが、いま世界  
で吹き荒れている労働者の  
反乱。長期のストライキも  
また、民主社会の労働者の  
意思表示であり、抵抗の手  
段である。

おりから新自由主義（強  
欲資本主義）の結果の格差  
の諸矛盾の潮目がきた。  
時代の転換の扉を押そう。  
がんばろう！郵政ユニオン。

# ことしもがんばります

特別執委	会計監査	〃	〃	〃	〃	執行委員	書記長	副支部長	支部長	郵政ユニオン長崎中郵支部 組合員一同
中島義雄	山内みどり	前田節一	日野高嗣	原田芳博	濱崎直樹	海江田弘子	山田武明	向井 宏	高口美和子	第二集配部
事務局	郵便部	第二集配部	第二集配部	第二集配部	第二集配部	第一集配部	第二集配部	第二集配部	第二集配部	

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員と正規社員の格差を正社員化を。

ゆめを、均等待遇、なげうち差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利を！

ユニオンは労基法裁判に勝利を！